

スペシャル
対談

写真家

山崎エリナ



関東道路メンテナンスセンター長

荒川 正秋

関東道路メンテナンスセンター発足を記念して、インフラメンテナンスの現場を撮り続ける写真家・山崎エリナさんと荒川センター長が対談。メンテナンスの大切さを発信したいという思いを語り合いました。(文中敬称略)

インフラメンテナンスの大切さを発信していきたい

荒川 インフラメンテナンス大賞の優秀賞受賞おめでとうございます。受賞された写真集「インフラメンテナンス」を拝見しましたが、メンテナンスに従事する方々や特徴が実によく写し出されておりました。

山崎 ありがとうございます。私は2017年に初めてインフラメンテナンスの現場に入らせていただいたのですが、まず魅了されたのが「人」だったんです。すぐそばを100kmもの高速で車が走り抜ける中で作業し続ける集中力、汗を吹き出しながらドリルでコンクリートを掘るその熱量を写真に閉じ込めるためには、自分も同じように体感しないと伝わらないと、至近距離で撮ることをモットーに撮影させていただきました。

荒川 題材にインフラメンテナンスを選ばれたきっかけは何だったのでしょうか？

山崎 自宅が全壊した阪神淡路大震災の経験が根っこにあると思います。分断された高速道路や陥没した道路がいつのまにか元通りになっている。誰かが直してくれたんだとイメージはしても、リアルな実像には結びつかず、東日本大震災から7年ほど経った福島でメンテナンスの現場を見たとき、「あ、これだ。この人たちがったんだ」と気付いたんです。写真家として現場の方の「人としての魅力」に引き込まれたこと、そして一般市民として有り難いという気持ちがあいまって、インフラメンテナンスをテーマに撮りたいと思うようになりました。

荒川 なるほど。道路のメンテナンスを取り巻く状況をお話しますと、平成24年の中央自動車道笹子トンネル天井板落下事故をきっかけとして、全ての道路管理者に5年に1度の定期点検が義務づけられました。関東地方整備局管内の1都8県には約11万5千の橋があり、平成30年までの5年間の定期点検の結果では、そのうちの約1割が早急な補修が必要と診断されました。しかし、補修されたの

はそのうちの約半分です。そこには、補修をしたくても予算や技術者がいないので、できないという課題を持つ自治体が多いという現状があります。

山崎 私たちはつい「構造物は安全」と過信してしまうという部分があるんですが、考えてみれば50年経っている構造物がすごく多いですよ。

荒川 そうなんです。人も構造物も50年を過ぎるとどこかにガタがきますよね。そのような様々な現状と課題を踏まえて、この4月に関東道路メンテナンスセンターが設置されました。我々は、積極的に現地に赴いて自治体の職員と一緒に橋の点検をしたり、補修の方針を提案したり、講習を行うこと等に取り組みながら、まずは道路管理者に向けてインフラメンテナンスの大切さを発信しているところです。

山崎 そうしたメンテナンスの大切さを広く発信していけるといいですね。写真展を開催すると、一般の女性の方が号泣しながら見てくださっているのをよくお見かけするんです。「私たちの安全を守ってくれている人がいて、その人たちがひたむきに作業している背中に誇りを感じる」と。伝わるものはきっとあると思いますので、これからもいろんな角度からインフラメンテナンスを伝えていきたいと思っています。

荒川 今度は是非、橋梁点検車に乗っていただいて、橋梁の診断をしているところを撮影してください。関東道路メンテナンスセンターは、関東地方整備局管内にある国道上の橋梁はもとより、市区町村の皆様の力になれるように頑張りますので、そこも写真で広く伝えていただければ、とてもうれしいです！

※対談の全文は関東道路メンテナンスセンターHPをごらんください

※インフラメンテナンス大賞

https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03_hh_000221.html

関東道路メンテナンスセンター http://www.ktr.mlit.go.jp/rd_mainte/

〒330-0843

埼玉県さいたま市大宮区吉敷町1丁目89番地1 タカビル2階

TEL 048-729-7780 / FAX 048-729-7790

道路のメンテナンスに係わる相談受付メールアドレス

ktr-road-mainte-center@nyb.mlit.go.jp 相談ごとはお気軽にお問い合わせください！

情報発信中！



Facebook <https://www.facebook.com/mlit.ktr.rd.mainte.center/>



Twitter https://twitter.com/mlit_ktr_mainte

事業概要

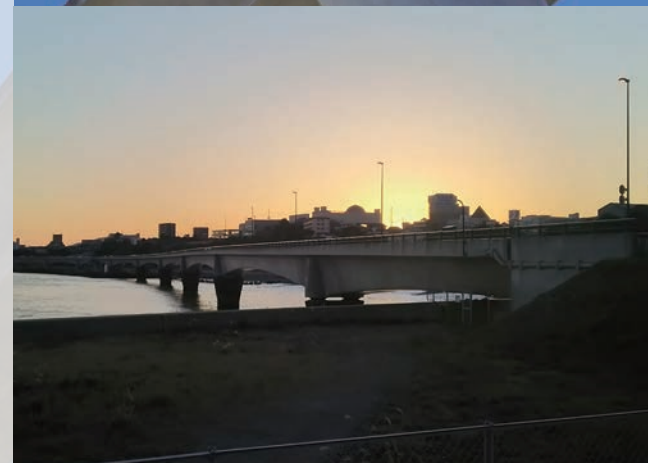
今も、そしてこれからも
道が道であるために



日本橋／国道1号／東京国道事務所



長野大橋／国道18号／長野国道事務所



旭高架橋／国道6号／常陸河川国道事務所



葛飾大橋(下り)／国道298号／首都国道事務所



月夜野大橋／国道17号／高崎河川国道事務所



水郷大橋／国道51号／千葉国道事務所

国土交通省 関東地方整備局
関東道路メンテナンスセンター

私たちの使命は この先**50**年後、**100**年後も 道路が道路として、 その機能を維持し続けること

関東道路メンテナンスセンターの主な役割

- 急速に老朽化する社会資本の対策を強化するため、**点検データ**等を生かした、より戦略的・効率的なメンテナンスを推進
- 直轄国道における橋梁等の健全性の診断等を担当、そのほか、蓄積された**メンテナンスデータ**の管理・分析による劣化予測や修繕計画の最適化、新技術の活用など**アセットマネジメント**による道路メンテナンスの高度化を推進
- 道路メンテナンスに係る地方公共団体支援**として、施設の健全性の診断・修繕の代行、高度な技術を要する道路構造物保全に関する相談への対応、地方公共団体の職員等を対象とした研修についても担当

橋梁等のメンテナンスへの係わり



橋梁等の健全性の診断



橋梁等のメンテナンスに係わる研修講師



地方公共団体が管理する橋梁等の保全に係わる技術的支援



関東道路メンテナンスセンターの主な業務

- 国道事務所が管理する橋梁等の健全性の診断
- アセットマネジメントの検討・導入**(メンテナンスデータの管理・分析等)
- メンテナンスに係わる技術的な支援
- 橋梁等のメンテナンスに係わる**技術研究開発**
- 地方公共団体が管理する道路構造物への直轄診断、修繕代行の支援
- 地方公共団体が管理する道路構造物の保全に係わる相談窓口
- 地方公共団体の職員等を対象とした研修・講習の講師

実施事例



直轄診断、修繕代行への支援



地方公共団体の職員等を対象とした研修・講習の講師

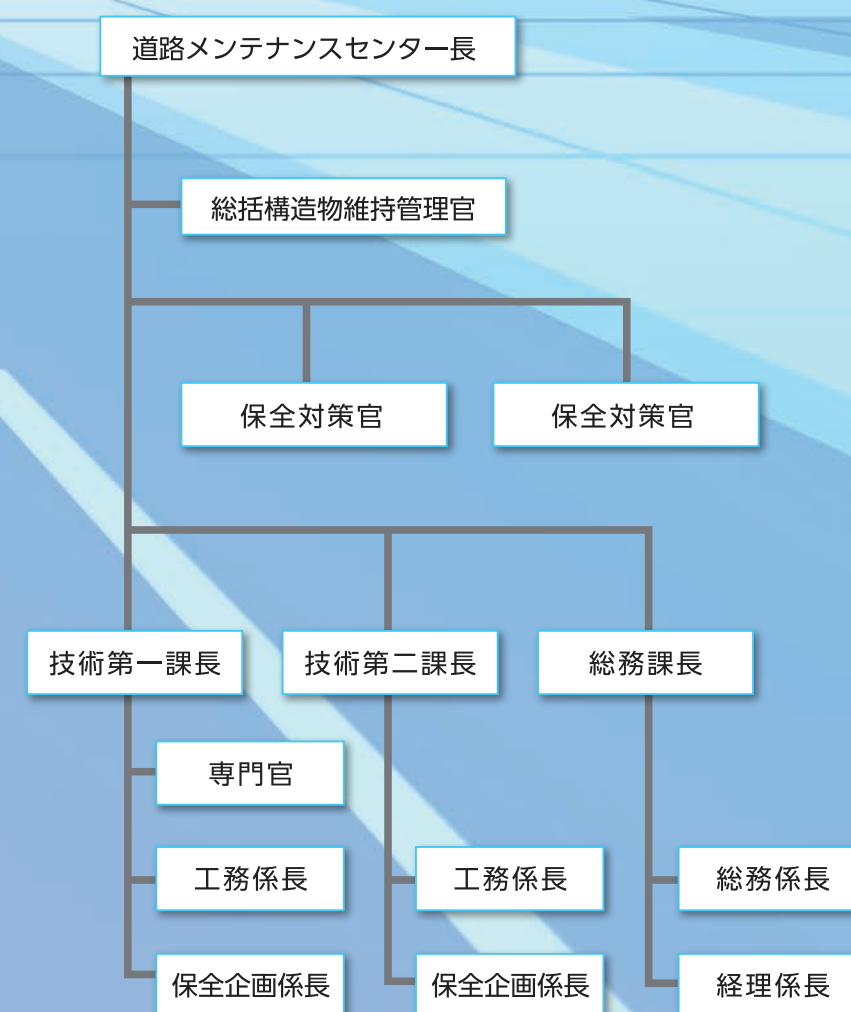


直轄診断、修繕代行への支援



各都県の道路メンテナンス会議への参画

関東道路メンテナンスセンターの組織の構成



技術第一課・第二課の役割
直轄橋梁の点検支援・健全性診断、道路構造物保全に関する技術相談対応、国・地方自治体職員向けメンテナンスに係わる講習会講師などを担当しています。

総務課の役割
職員の給与・服務、公文書管理、福利厚生及び共済組合など庶務に関する事務及び予算管理、支払、契約及び物品の管理など経理に関する事務を担当しています。